

# 『二代目社長。私流のリーダーシップ』

講師：日本電鍍工業株式会社 代表取締役 伊藤 麻美

## ■□要旨■□

### 1. 伊藤社長のバックグラウンド

- ・上智大卒業後DJとしてFMラジオなどで活躍。
- ・その後、アメリカ留学し宝石の鑑定士・鑑別士の資格を取得。
- ・帰国後、日本電鍍工業株式会社取締役を経て2000年3月同社代表取締役に就任。

**港区に住みインターナショナルスクールに通ったお嬢様が突然、経営難に陥ったメッキ会社の社長を行うことに。**

### 2. 社長就任経緯

- ・商社出身の父が53年前に設立。当初は腕時計に特化し時計メーカーの指定工場に。
- ・91年父が急死し前社長が引継ぐも、10年で無借金→借入10億、売上/社員も激減。
- ・会社の幕引きに立ち会っていたら、自分も行動を起こそうという気持ちに。
- ・周囲の反対を押し切り、自己破産覚悟で取り組む決断をした。

**決断に至った決定打-----もし引き受けなければ、自分がお情に入った時(後悔のため)笑顔で死ねないから**

### 3. 就任後のエピソード

- ・社員食堂での就任挨拶。「会社を守りたい、一緒に力をあわせて行こう」とお願い。
- ・社員一人一人との対話を継続。最初は不平不満のみの中、会社に愛着を持たせることに注力。
- ・金融機関からは冷遇。何度も飛び掛ろうとした。最終的には大手のフォロワーをつかみ正常化。
- ・就任後3年で黒字化。鍵は(1)業績をOpenにし社員と共有。(2)不採算部門の閉鎖(3)医療・美容など付加価値の高い分野からの発注増

### 4. リーダーシップ語録

- ・信頼しあうにはコミュニケーションしかない。些細な事でも共有し相談する。
- ・社長のトップダウンの方が簡単だが、会社の主役は社員であり勝手にやらない。
- ・「できない」ことを「できる」と思いながらチャレンジしてほしい。3年後には当たり前ものになっているかもしれないのだから。
- ・会社がなぜ蘇ったかと聞かれたら「想い」。しっかり想いが伝わるかが重要。
- ・悔しい思いというのは、今に見ているというプラスの力に変わる

### 5. 夢

- 「全社員の夢をかなえること」
- 「100年企業」の達成

## ■□今回の学び ひとことという■□

**コミュニケーションが社員との信頼関係をつくり、社員と会社、社員と経営者の絆を強固にしていく。困難に立ち向かう姿勢を崩さず、パッションを伝えることで自然にフォロワーが増える。**



■□感想■□そのプロフィール・風貌からは全く想像つかない泥臭くひたむきで迫りに満ちたお話でした。社長就任された10年前は、中小企業はもとより大企業にとっても大変な時代。全くといって経営や事業のご経験の無い社長が瀕死の会社を蘇生させたその秘訣はシンプルなものでした。